

修正内容一覧

物質ID	物質名	CAS番号	項目	修正前					修正後					備考			
				分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報	注意書き	分類結果・問題点	分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報		注意書き	分類結果・問題点	
R03-A-012-METL MOE	2, 2, 3, 3-テトラ	22898-01-7	水生環境有害性 短期 (急性)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	藻類 (ムシカツキモ) 72時間EC50 = 3.54 mg a.i./L (水産動物の被害防止に係る農業登録保留基準として環境大臣が定める基準の設定に関する資料, 2016) であることから、区分2とした。	2022.6修正 分類根拠の修正	
R03-A-014-METL MOE	N, N, N-トリメチルホスホーニウム塩 ミニウムプロピド	1119-94-4	水生環境有害性 長期 (慢性)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BIOWIN)、藻類(テヌメナムス属)の72時間NOEC = 0.00158 mg/L (REACH登録情報, 2021) から、区分1となる。 慢性毒性データが得られていない実業段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BIOWIN)、甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50 = 0.135 mg/L (REACH登録情報, 2021) から、区分1となる。	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BIOWIN)、藻類(テヌメナムス属)の72時間NOEC = 0.00158 mg/L (REACH登録情報, 2021) から、区分1となる。 慢性毒性データが得られていない実業段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BIOWIN)、甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50 = 0.135 mg/L (REACH登録情報, 2021) から、区分1となる。	2022.6修正 分類根拠の修正	
R03-A-018-METL MOE R03-B-016-METL MOE	ポリ(オキシエチレン)エーテルアルコール基の炭素数が12から19までのもの及びその混合物に限る。	68131-39-5	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		2022.3修正 再分類物質のためを修正	
R03-A-020-METL MOE	N-(4-クロロフェニル)-1-ピロリジン-2-オン ヘキサセチン、2-エチルピロリジン (別名: クロルピラミ)	88402-43-1	水生環境有害性 短期 (急性)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	藻類 (ムシカツキモ) 72時間EC50 = 0.0158 mg/mL (水産動物の被害防止に係る農業登録保留基準として環境大臣が定める基準の設定に関する資料, 2016) であることから、区分1とした。	2022.6修正 分類根拠の修正	
R03-A-020-METL MOE	N-(4-クロロフェニル)-1-ピロリジン-2-オン ヘキサセチン、2-エチルピロリジン (別名: クロルピラミ)	88402-43-1	水生環境有害性 長期 (慢性)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	急速分解性がなく(BIOWIN)、藻類 (ムシカツキモ) の72時間NOEC = 0.00235 mg/L (農業抄録, 2012) から、区分1とした。 慢性毒性データが得られていない実業段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく、甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50 > 3.71 mg/L (水産動物の被害防止に係る農業登録保留基準として環境大臣が定める基準の設定に関する資料, 2016) から、区分2となる。 以上の結果を比較し、区分1とした。	急速分解性がなく(BIOWIN)、藻類 (ムシカツキモ) の72時間NOEC = 0.00235 mg/L (農業抄録, 2012) から、区分1とした。 慢性毒性データが得られていない実業段階(甲殻類、魚類) に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく、甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50 > 3.71 mg a.i./L (再度試験, 水産動物の被害防止に係る農業登録保留基準として環境大臣が定める基準の設定に関する資料, 2016) から、区分に該当しないとなる。 以上の結果を比較し、区分1とした。(a.i. active ingredient)	2022.6修正 分類根拠の修正
R03-A-022-METL MOE	(E)-N-(6-クロロ-3-ピリジリル)メチル-N'-メチル-2-ニトロピロリジンジアミン (別名: ニテンピラム)	150824-47-8	水生環境有害性 短期 (急性)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	本物質はネオニコチノイド系殺虫剤であり、特異な感受性分布を有することが知られている。専門判断により、セズジュスリカ(幼虫)48時間EC50 = 0.11 mg/L (水産動物の被害防止に係る農業登録保留基準として環境大臣が定める基準の設定に関する資料, 2017) であることから、区分1とした。	2022.6修正 分類根拠の修正	
R03-A-022-METL MOE	(E)-N-(6-クロロ-3-ピリジリル)メチル-N'-メチル-2-ニトロピロリジンジアミン (別名: ニテンピラム)	150824-47-8	水生環境有害性 長期 (慢性)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	本物質はネオニコチノイド系殺虫剤であり、特異な感受性分布を有することが知られている。慢性のある慢性毒性データが得られていない、急速分解性がなく(BIOWIN)、専門判断によりセズジュスリカ(幼虫)の48時間EC50 = 0.11 mg a.i./L (水産動物の被害防止に係る農業登録保留基準として環境大臣が定める基準の設定に関する資料, 2017) から、区分1とした。(a.i. active ingredient)	2022.6修正 分類根拠の修正	
R03-A-025-METL MOE	(RS)-2-(4-イソプロピル-4-メチル-5-オキソ-2-イミダゾリノ-2-イル)ニテンピラム (別名: イマザビル酸)	81334-34-1	水生環境有害性 長期 (慢性)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BIOWIN)、魚類(ニジマス)のNOAEC = 43.1 mg/L (REACH登録情報, 2021) から、区分に該当しないとなる。 慢性毒性データが得られていない実業段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく、水生植物(イボウキクサ)の14日間EC50 = 0.052 mg/L (REACH登録情報, 2021) から、区分1となる。 以上の結果を比較し、区分1とした。	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BIOWIN)、魚類(ニジマス)のNOAEC = 43.1 mg/L (REACH登録情報, 2021) から、区分に該当しないとなる。 慢性毒性データが得られていない実業段階(藻類) に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく、水生植物(イボウキクサ)の14日間EC50 = 0.052 mg/L (REACH登録情報, 2021) から、区分1となる。 以上の結果を比較し、区分1とした。	2022.6修正 分類根拠の修正